

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年2月10日(2025.2.10)

【国際公開番号】WO2023/167126

【出願番号】特願2024-504672(P2024-504672)

【国際特許分類】

C 0 9 D 1 7 5 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 D 7 / 6 2 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 9 D 7 / 6 3 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 9 D 7 / 6 1 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 9 D 5 / 1 8 (2 0 0 6 . 0 1)

B 0 5 D 7 / 2 2 (2 0 0 6 . 0 1)

B 0 5 D 7 / 2 4 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 9 D 1 7 5 / 0 2

C 0 9 D 7 / 6 2

C 0 9 D 7 / 6 3

C 0 9 D 7 / 6 1

C 0 9 D 5 / 1 8

B 0 5 D 7 / 2 2 A

B 0 5 D 7 / 2 4 3 0 2 T

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月29日(2024.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材と、前記基材を被覆する被覆層を有する被覆層付き基材であって、
前記被覆層が、
イソシアネート成分とアミン成分との反応生成物であるポリウレア、および耐火剤を含み、

前記イソシアネート成分が、脂肪族ポリイソシアネートを含み、
前記アミン成分が、ジメチルチオトルエンジアミン、ジアミノジフェニルメタンおよびアスパラギン酸エステルアミンからなる群から選択される少なくとも1種であるポリアミン(a)を含む

40

被覆材料からなり、

前記基材が熱可塑性樹脂の成形物であり、

前記基材が設備配管、排水管、排水樹、排水蓋、電線配管または継手である被覆層付き基材。

【請求項2】

前記耐火剤が、ポリリン酸アンモニウム粉末が樹脂により被覆されてなるマイクロカプセル、メラミン化合物粉末、およびペンタエリスリトール化合物粉末を含む混合物からなる請求項1に記載の被覆層付き基材。

【請求項3】

前記被覆材料が、中空セラミック粒子、および白色顔料からなる群から選択される少な

50

くとも 1 種の遮熱剤を含む請求項 1 に記載の被覆層付き基材。

【請求項 4】

前記熱可塑性樹脂がポリ塩化ビニルである請求項 1 に記載の被覆層付き基材。

【請求項 5】

基材に塗料組成物を塗布し、硬化させて被覆層を形成する工程を含むか、または
基材に下塗り層を形成する工程、および

前記下塗り層に塗料組成物を塗布し、硬化させて被覆層を形成する工程を含み、
前記塗料組成物が、

イソシアネート成分と、アミン成分と、耐火剤とを含み、

前記イソシアネート成分が、脂肪族ポリイソシアネートを含み、

前記アミン成分が、ジメチルチオトルエンジアミン、ジアミノジフェニルメタン、および
アスパラギン酸エステルアミンからなる群から選択される少なくとも 1 種のポリアミン
(a) を含む、

塗料組成物であり、

前記基材が熱可塑性樹脂の成形物であり、

前記基材が設備配管、排水管、排水桝、排水蓋、電線配管または継手である
被覆層付き基材の製造方法。

【請求項 6】

前記耐火剤が、ポリリン酸アンモニウム粉末が樹脂により被覆されてなるマイクロカプ
セル、メラミン化合物粉末、およびペンタエリスリトール化合物粉末を含む混合物からな
る請求項 5 に記載の被覆層付き基材の製造方法。

【請求項 7】

前記塗料組成物が、中空セラミック粒子、および白色顔料からなる群から選択される少
なくとも 1 種の遮熱剤を含む請求項 5 に記載の被覆層付き基材の製造方法。

【請求項 8】

前記塗料組成物が溶媒を含む請求項 5 に記載の被覆層付き基材の製造方法。

【請求項 9】

前記熱可塑性樹脂がポリ塩化ビニルである請求項 5 に記載の被覆層付き基材の製造方法。

10

20

30

40

50